

「言葉の壁」を越えたおもてなし！

総務省

「多言語音声翻訳システムの利活用実証に係る実施団体」の公募

応募について

「多言語音声翻訳システム」は、既にスマホなどで使えるアプリになっています。
このアプリを使って、外国人とコミュニケーションして、
観光に、お食事に、ショッピングにお誘いする…。
そんな実験に、
名古屋市内の有志で取り組もうと考えています。
「言葉の壁」を越えたおもてなしで、名古屋の街をさらに活性化させましょう！！



2015年9月17日

総務省

「多言語音声翻訳システムの利活用実証に係る実施団体」の公募

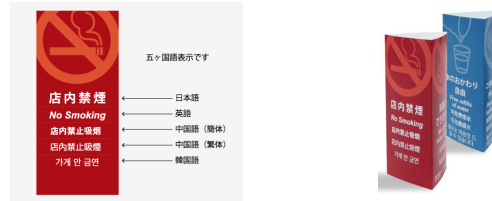
(1) 事業の背景

総務省は、「言葉の壁」を越えた交流の実現のため、『グローバルコミュニケーション計画』を策定。東京五輪の2020年をメドに、多言語音声翻訳システムの高度化&社会実装をめざして取組まれています。その一環として、あらゆる人にとって使いやすい多言語音声翻訳システムの実現に向けて、地域における利活用実証が実施されることになり、その実施団体を公募中です。

(2) 総務省から提供されるもの

①多言語音声翻訳アプリの提供

②ご案内ツール(ステッカー、ポップ等)の提供

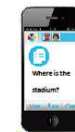


③アプリの利用マニュアルの配布、説明会の開催

(3) 実施施設が協力すること

①利用環境・機器の準備

- ・無線LAN、携帯電話インターネット等のネット環境
- ・端末機器（スマートフォン、タブレット等）



②外国人客とのコミュニケーション

③実証期間中、終了後の調査への協力 アンケート調査、ヒアリング調査等

(4) 実施団体が事前に準備すること

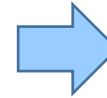
①地域特有の固有名詞や会話文の日本語とその対訳データを整備して、提供する。

↓ ↓ ↓
★対訳データがセンターサーバーにあれば、翻訳できる！ ← 外国人との会話に困らない。

名古屋の街で 「言葉の壁」、みんなで越える実験を！

(1) 外国人受入れに当たって、解決したい地域の課題

- ①多言語による観光・買物等情報発信が不十分な地域である。
- ②外国人ビジターは増えてきているが、多言語対応困難な施設が多い。
- ③外国人訪問の60%超がビジネス客と言われており、滞留時間が短い。
- ④閉店時刻が早い施設が多く、外国人ビジターに不評を買っている。
- ⑤歴史等価値のある施設も多言語案内がなく、アピール出来ていない。

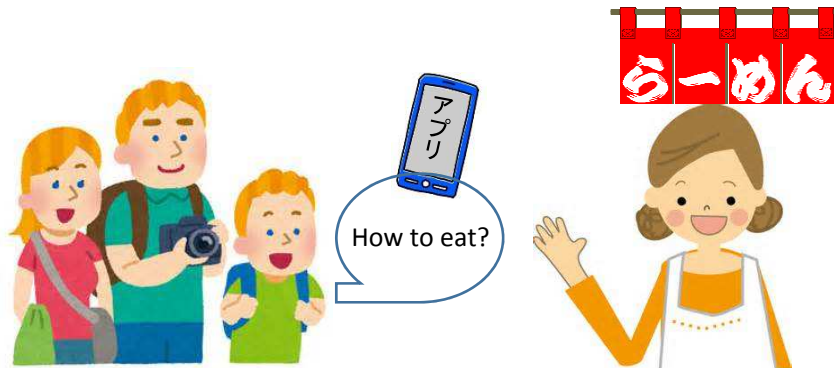


翻訳アプリで対応！

- 地域特有の言葉データベースを入れた翻訳システムを活用。名古屋の街の回遊&消費を誘う。
- 観光、グルメ、買物に誘導
- 居酒屋、夜景など、夜の健全な楽しみ情報を提供

(2) 課題の解決を図るために、「多言語音声翻訳アプリ」実証事業を活用！

観光・小売・飲食の施設でアプリを利用



外国人のお客様に声をかける時も、かけられた時も「翻訳アプリ」！

「翻訳アプリ」と「観光アプリ」の連携



トヨタマップマスター社の「観光ガイドアプリ」に「翻訳ボタン」！

「多言語翻訳アプリ」でお迎えして 外国人ビジターの都市観光&グルメ・ショッピング促進へ！



「翻訳アプリ」と「観光アプリ」の連携

観光・小売・飲食の施設でアプリを活用



1. 対象エリア：テレビ塔を中心に、市内観光バス「めぐる」が巡回する名古屋の市街

2. 実証への取り組みイメージ

- ①稼働中の観光ガイドアプリと「多言語化翻訳アプリ」の連携による多言語案内。
- ②実証参加施設スタッフの外国人との会話への抵抗感を軽減。集客に向けて、外国人優待クーポンを発行。
- ③「多言語化翻訳アプリ」の外国人ビジネス客への周知策も段階的に実施、ビジターの市内滞留時間延長を図る。
- ④「名古屋めし」「Night Spots」「居酒屋」等のコンテンツをアプリに拡充。需要拡大を図る。
- ⑤歴史的建築物や商業施設を含めて、固有の名词、単語等を整備することによって多言語案内を充実させる。
- ⑥アプリ上にスタンプラリーを搭載、複数訪問&購買による特典を供与。

